

▼山岡 勇市さん (写真左)



令和3年度全国土地改良功労者表彰

3月1日、山岡 勇市さん(刈間)が全国土地改良事業団体連合会から全国土地改良功労者表彰個人表彰の全土連会長表彰を受賞されました。

山岡さんは、愛知川土地改良区において、理事、監事、総括監事、副理事長を歴任され、長きにわたり土地改良区運営に貢献されました。

また、土地改良区施設の老朽化が進む中、適切な資産管理と優良農地保全に努めた功績が認められました。

東京都で行われる予定であった表彰式は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となり、4月8日に有村町長から代読表彰されました。

▼みずき舞さん (写真左)



寄附金をいただきました

3月22日、愛荘町東円堂出身の歌手、みずき舞さんから50万円の寄附金をいただきました。

これは、デビュー30周年を記念する事業の一環として、町の振興に寄与するため、申し出をいただいたものです。

みずき舞さんは、「生まれ育った愛荘町は私の原点。皆さんの気持ちのおかげで30周年を迎えられました」と感謝の気持ちを話されていました。

寄附金は、町内2中学校の吹奏楽部の楽器購入に活用させていただきます。



▼全国大会に出場された皆さん



第51回全国中学校剣道大会滋賀県代表!

令和3年7月に開催された「第74回滋賀県中学校夏季総合体育大会兼滋賀県民総スポーツの祭典第74回滋賀県民体育大会(中学生の部)」において、剣道男子個人戦・剣道女子団体の部でそれぞれ優勝されました。

また、滋賀県代表として、8月に神奈川県川崎市のとどろきアリーナで開催された第51回全国中学校剣道大会に出場され、3月9日に有村町長に報告を兼ね表敬訪問されました。

男子個人戦	: 三浦 凜太郎さん
女子団体の部	: 阿藤 りおんさん、篠原 那月さん 廣瀬 咲穂さん、 田中 夢真さん

▼笑顔の山崎 創太さん (写真右)



全国大会で優秀な成績を収められました

令和3年6月の「第26回全日本少年少女空手道選手権大会グランドチャンピオン決定戦」で優勝され、他3大会でも優秀な成績を収められた山崎 創太さんが、3月29日に有村町長へ成績報告をされました。

山崎さんは、「新型コロナウイルス感染症拡大で道場での練習がない時も、自宅で練習してたくさん努力しました」と話されていました。また、「今後も有村町長に成績報告に来られるように今年も頑張ります」と強く意気込んでおられました。

今後も更なる活躍を期待しています。

▼笑顔の善藏さん



100歳の長寿者激励

蚊野の外川 善藏 さん(大正11年4月18日生)が100歳のお誕生日を迎えられました。

善藏さんは、瓦職人をしておられ、その後は小学校の用務員をされていました。また、川で流木を拾い、加工するのを趣味にされていました。

ご家族は「今まで苦勞をしてきたので、天寿を全うしてほしい」と話されていました。

町内に100歳以上の方は、4月21日時点で13人おられます。皆様がいつまでもご健康でお過ごしくださいますようお願いいたします。

▼近江上布を織る様子



滋賀県立愛知高等学校出前講座

4月27日、ゆめまちテラスえちで、町と滋賀県麻織物工業協同組合が滋賀県立愛知高等学校1年生を対象に、出前講座を開催しました。

愛荘町のまちづくりやアーチェリー競技、近江上布の紹介について、講師より実演等を交えながら講義がありました。

参加した生徒は「近江上布が国の伝統的工芸品だと知りました。伝統的な味があり、心がこもっているなと思いました」と話していました。これを機に、愛荘町の資源について考え、まちづくりへの理解を深めていただくことを期待しています。

▼風に揺れるのれん



のれんアート

「第14回中山道愛知川宿のれんアート」が中山道愛知川宿で4月23日から5月8日まで開催されました。

今回の創作テーマは『笑』です。思わず笑顔になる作品が多く展示されていました。街道にはのれんとともに愛知川保育園の園児たちが作成した風鈴も飾られていました。風鈴のきれいな音色とともに風に揺れるのれんが、道行く人を和ませていました。

愛荘町のふるさと大使であるダイアンの作品もあり、愛知川宿は素敵な作品で彩られていました。



▼愛知川小学校5年生の田植え体験 (5月6日)



小学5年生田植え体験

5月に町内4小学校の5年生が田植え体験を行いました。この体験はお米や農業について学び、食の大切さを知ってもらうことを目的に地元農家の方々の協力のもと行われています。

田んぼに入った児童は、初めての泥の感触に歓喜しながらも、農家の方々からアドバイスを受けながら、1苗1苗しっかりと田に植えていました。

また、田んぼの中の生き物を観察し、田んぼが育む生態系についても触れました。

田植え体験をした児童らは、「泥が冷たくて気持ちよかった」「お米ができるのが楽しみ」と話していました。